

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 松江市立母衣小学校 ～

1. 概 要

7月3日(金)、松江市立母衣小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、遺跡とは何か、学校周辺の遺跡、勾玉について学ぶとともに、本物の縄文土器や弥生土器、勾玉などを見学し、文化財の知識を深めてもらいました。その後、体験学習として勾玉作りをしました。

これらの授業・体験を通じて、自分たちの身の回りにも多くの文化財があることを知ってもらおうとともに、勾玉についての知識を深めることができましたと思います。

2. 学習の様子



授業の様子



勾玉作り体験の様子

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

○“心に残った”こと

- ・地面を掘ることで縄文時代の人々の生活が分かるということ
- ・島根県や松江市にも遺跡がたくさんあること
- ・自分の家の近くに遺跡があったこと
- ・土器が普通に落ちていること
- ・出雲地方に全国的に有名な遺跡があること

○もっと知りたいことや体験したいこと

- ・昔の人の生活の跡や土器などはなぜ地面に埋まっているのか
- ・なぜ松江市にはたくさんの遺跡があるのか
- ・発掘をしてみたい
- ・一番きれいな勾玉をつくりたい
- ・じっさいに自分で遺跡を見つけてみたい
- ・勾玉づくりはふつう何時間かかるか

2) 担任の先生から…

- ・「自分の勾玉がきたない」という児童がいた。「石からつくっていて個々に模様がある」と伝えましたが、その点に触れていただけたら子供達も良さとして理解できた。
- ・せっかくの機会なので、実物をもとに話をしたり説明したりすると更によかった。
- ・前半の話もクイズのように情報をだされていて、とても聞きやすかった。

3) 埋文センターから…

- ・短時間でしたが、座学から体験までとても密度の濃い授業ができました。本授業を通して、自分たちの身の回りにも文化財がたくさんあることを知ってもらえたのではないのでしょうか。